

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	家族の思いと本人像とのずれがある場合や認知症への家族の理解が難しい場合、介護職からの意見では家族が受け入れがたい反応を示されることが多い。	他専門職との連携継続 家族との円滑なコミュニケーション	今後も、他専門職とのカンファレンスや医療職や栄養士から状況説明する機会を継続する。	6ヶ月
2	26 49	敷地内やホーム内でかなり歩行する機会は得ているが、「散歩させてほしい」「歩かせてほしい」と、家族からの意見がある。	家族との円滑なコミュニケーション 個別の思いを充分聞く 実施していることは、上手く家族に伝える	それぞれの家族が希望する外出(ホームの敷地内でも外気に触れる機会なのか、一歩でも敷地外に出ることなのか等)とはをしっかりと聞き取り、日々の生活に取り入れる。	3ヶ月
3	2	地域の公園清掃、婦人会主催カフェ、地域の会館での催し、近隣グループホームとの交流等月に1~2回ずつのペースで参加も受け身。昨年度カフェを主催したがPRが足りず参加者は地域包括職員のみという結果に終わった。隣接特養との合同行事は開催。	主催行事が定例化したり、地域と合同で何かが出来れば	自治会への働きかけを継続	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。